

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	知的障害児の心理・生理・病理					授業形態	授業形態	講義			
科目コード	750136	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○		○
担当教員名	未定								ICT活用		
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の中でも、特に知的障害教育に携わる教員に求められる専門性を養うことであり、特に知的障害児の心理・生理・病理を幅広く学ぶことである。</p> <p>特別支援学校（知的障害）での指導経験を活かし、本授業では、知的障害の定義や生理・病理面での理解を図った上で、心理面での特性とニーズについての学びを図る。また、実際の実践に生きるように言語指導等を含め、知的障害児の実態や特性に合わせた具体的な指導について事例等を通して理解を深める。</p>										
関連する科目	履修前に「教育心理学」や「発達心理学」を履修しておくことが望ましい。履修後は、「知的障害児の心理と発達支援」を履修することが望ましい。										
授業の進め方と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。										
授業計画【第1回】	知的障害についてのガイダンス ICFの考えを踏まえた知的障害児・者の自立										
授業計画【第2回】	知的障害の捉え方 文部科学省による知的障害の定義										
授業計画【第3回】	知的障害の原因と分類 病理・生理面からの知的障害の2分類法による知的障害の理解										
授業計画【第4回】	知的障害児の認知 知的障害児の認知の特徴（注意、ワーキングメモリなど）の理解										
授業計画【第5回】	知的障害児と学習のメカニズム 様々な学習（古典的条件づけやオペラント条件付け、観察学習等）による知的障害児への行動的アプローチの理解										
授業計画【第6回】	知的障害児の学習過程・理論とその支援 知的障害児の学習上の特性の理解										
授業計画【第7回】	知能の生涯発達変化 知能の概念や指数の理解及び知的障害児の知能の生涯発達										
授業計画【第8回】	検査を指導に生かす① PVT-Rや遠城寺式乳幼児分析的発達検査、グッドイナフ人物画知能検査の解釈の仕方・理解及び知的障害児の指導への活用										
授業計画【第9回】	検査を指導に生かす② ウェクスラー検査の理論と解釈の仕方・理解及び知的障害児の指導への活用										
授業計画【第10回】	知的障害児の言語指導 インリアル・アプローチの技法の理解及び知的障害児の特性を踏まえた言語指導										

授業計画 【第11回】	知的障害と動機づけ 動機づけの理解及び知的障害児の特性を踏まえた支援の在り方
授業計画 【第12回】	知的障害と合理的配慮 合理的配慮と自立活動を踏まえた支援の在り方
授業計画 【第13回】	知的障害と支援機器 知的障害児の特性を踏まえたICT等の活用及び適切な教材・教具
授業計画 【第14回】	知的障害に関連する諸障害 ダウン症等の知的障害を伴う諸障害の理解及び支援
授業計画 【第15回】	関係者・機関との連携・協働 家庭や医療、福祉、労働機関との連携・協働
授業の到達目標	知的障害児の心理・生理・病理について概観し、知的障害児の発達や認知特性、行動の特徴等を踏まえた支援について理解することを目的とし、以下の3点を到達目標として設定する。 1. 知的障害の遅れや適応行動による困難さの要因となる病理面や生理面、心理面の特徴とともに、それらの相互作用について理解している。 2. 観察や諸検査等を通して知的障害児の状態や適応行動の困難さ、認知の特性等を理解している。 3. 家庭や医療、福祉、労働機関との連携・協働の重要性について理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	テキストや配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく（1時間程度）
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。
評価方法・基準	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容（20%）、及び最終試験（80%）で総合的に評価する。
テキスト	文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』開隆堂（159円＋税） 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）』開隆堂（343円＋税） 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説各教科等編（幼稚部・小学部・中学部）』開隆堂（501円＋税） なお、必要に応じてプリントを配布する
参考書	梅谷忠勇著（2012）『改訂知的・発達障害児の学習-心理と指導支援-』田研出版（2,500円＋税） 梅谷忠勇著（2004）『図解知的障害児の認知と学習-特性理解と援助-』田研出版（2,000円＋税） 竹田契一・里見恵子編（1994）『子どもとの豊かなコミュニケーションを築くインリアル・アプローチ』新日本印刷（2,300円＋税）
備考	